

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月20日更新

事務事業名	敬老事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名 大山 由紀美
	施策	7 高齢者の自立と支援体制の充実	所属課	高齢者支援課	担当者名 上山 展右
	施策の柱	25 高齢者の社会参加の促進	所属班	包括支援センター班	(内線) 1627
予算科目	会計一般	款 3 項 1 目 4 事業連番 10436 根拠法令	合志市敬老事業実施補助金交付要綱 合志市百歳の高齢者に対する敬老祝		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>多年にわたり社会の発展に寄与して来られた高齢者を敬愛するための敬老事業を実施する行政区・施設に対して、その経費の一部を補助する。また、百歳表彰及び金婚表彰についても当事業で行う。</p> <p>〔経緯〕平成14年度、行政主催の敬老祝賀会(式典方式)から敬老事業を実施する行政区等への補助金交付方式に変更した。※高齢者(参加対象者)が増加したため、弁当等の手配等で混乱を来すようになった。平成19年度、補助金算定単位(人数加算)の対象年齢を70歳以上から75歳以上に上げた。※高齢者(対象者)が多くなったため。平成25年度、百歳敬老祝金贈呈事業及び金婚表彰事業を本事業へ統合。</p> <p>〔補助金の算出〕(1)定額補助(1行政区あたり10,000円)と(2)人数加算(75歳以上の高齢者数に1人あたり700円を乗じた額)の合計額。※敬老事業に要した実支出額が少ない場合は、その額。行政区に該当しない施設等については人数加算のみ。</p>
【業務の流れ】	<p>【敬老事業】①住民登録から行政区毎の75歳以上人口を把握 ②区長・施設長に補助金交付申請書を送付 ③申請に対して補助金交付決定通知書を送付 ④敬老事業実施後提出された実績報告書を審査 ⑤補助金の支払い</p> <p>【金婚表彰事業】①当該年度の金婚夫婦該当者を把握するため、区長便により回覧・申請 ②金婚夫婦表彰伝達式(例年9月)の案内送付、実施 ③伝達式欠席者へ表彰状受け渡し ④伝達式参加者へ記念品(集合写真)の送付</p> <p>【百歳敬老祝金贈呈事業】①当該年度の百歳高齢者を調査・把握 ②原則誕生日に訪問し、表彰状・祝金の贈呈</p>
【主な予算費目】	報償費、需用費、負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	<p>敬老事業を実施しない行政区があり、特に高齢者数が10人未満の行政区は実施しない場合が多い。</p> <p>金婚夫婦表彰に関して、H29年度より新聞掲載を表彰の要件としたため申請時の誤解や混乱は無かった。今年度は各戸回覧(区長取りまとめ)による申請に加え、窓口・電話でも受け付け可能とした。しかし「回覧による申請を行ったが、新聞掲載が無かった」「(区長が)取りまとめによる提出を忘れていた」「組長のところでとまっていた」など漏れがあり、引き続き申請方法の検討が必要である。</p>

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> 敬老事業を実施した75地区、4施設に補助金を交付し、敬老事業を支援した。 金婚夫婦 93組を表彰した。 満百歳を迎えられた高齢者 12人に祝金等を贈呈した。 長寿を祝い労をねぎらうとともに、健康で長生きする意欲の高揚が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老事業実施補助金の交付 金婚夫婦の表彰(熊日共催) 百歳祝金の贈呈(対象者33人。贈呈:表彰状、表彰状額、祝金10万円) 内閣総理大臣表彰(百歳)の伝達(対象者33人) 	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 補助金交付申請団体数	件	百歳祝金対象者の増加による報償費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
多年にわたり社会の発展に寄与して来られた高齢者	→ ア: 75歳以上の高齢者	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
長寿を祝いその労をねぎらうとともに、市民の敬老思想および高齢者の生活意欲の高揚を図る	→ ア: 敬老事業への参加者数	人
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
敬老会の実施・参加することで長寿を祝うことが出来るので、敬老事業への参加者数とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 件	80	78	80	79	76	78	78	78	
	イ									
② 対象指標	ア 人	6,401	6,613	6,811	6,742	6,996	7,181	7,181	7,181	
	イ									
③ 成果指標	ア 人	4,668	4,334	4,200	4,369	4,200	4,200	4,200	4,200	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	(A) 事業費計	千円	6,811	7,567	7,582	6,788	9,119	9,119	9,119
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	230	340	360	630	360	360	360
(B) 人件費計	千円	0	1,345	1,434	2,483	1,434	1,434	1,434		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,811	8,912	9,016	9,271	10,553	10,553	10,553		

